

ダムの風だよい

犀龍よ

小太郎だよ



国土交通省 大町ダム

”大町ダム管理所”の近況をお知らせする広報誌です！

洪水期に向けての取り組み

洪水期とは？

大町ダムでは、雨の日が多く洪水が発生しやすい
6月1日～9月30日の期間を「洪水期」と定めています。

大町ダムでは、「洪水期」に備えて

①洪水調節容量の確保

②設備の点検整備

③訓練の実施

を行い、

大雨が発生しても対応できるように準備を行っています。

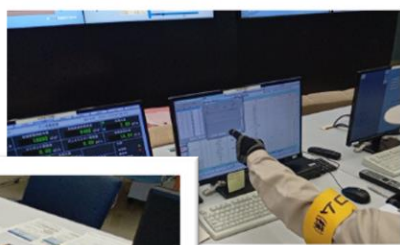
①洪水調節容量の確保

ダム湖の水位を下げることで、洪水調節容量を確保しています。洪水期間中は下限水位（標高877.7m）、上限水位（標高878.5m）を超過しないように職員がダムからの放流量を調節しています。大きな洪水があった時に、ダムに水を貯め込めるようにするためです。

大町ダム湖では、洪水期は約2000万 m^3 の水を貯めることができます。（右写真）



R7年度は
5月27～30日に実施
（大町ダム操作室）



ダムコンの点検

②設備の点検整備

大町ダムでは設備を定期的に点検することで、異変や劣化具合を適宜把握しています。洪水期前には詳細に各部を点検し、実際に動作するか確認しています。

例年洪水期前の5月にゲート設備や電気通信設備の点検を行っています。左の写真はダムコン（通信設備）点検時の写真です。ダムコンとはダム及び貯水池の管理に必要な各種データの収集や操作室から放流ゲートの遠方操作を可能とするもので、ダム管理所にとって重要な設備の一つです。

③訓練の実施

毎年洪水期前に、大雨が来た場合を想定して訓練を実施しています。放流開始前の河川パトロールや放流警報、情報伝達、放流（机上）など、放流に関わる一連の流れを確認しています。

右の写真は大町ダムで行った洪水対応演習時の写真です。関係機関に放流通知が届いているか確認している様子です。

令和7年5月8日



洪水対応演習（大町ダム管理所 操作室）

☆イベント情報！！

高瀬渓谷フェスティバル2025

大町ダムでは、「森と湖に親しむ旬間」の一環として、森林や湖に親しむことにより、心身をリフレッシュしながら、森林やダム等のもっている自然豊かな空間や社会生活にはたしている役割について理解を深めていただくことを目的に開催を予定しています。

開催日時：令和7年7月19日（土曜日）

開催場所：大町ダム管理所

※詳細については決定次第ホームページ等でお知らせします



昨年の実績

昨年は7月20日(土)に大町ダム管理所で開催しました。どなたでも参加可能で、施設見学や各種体験は無料で行いました。

- ・ダム内部見学
- ・クイズラリー
- ・クラフト体験
- ・降雨体験
- ・パネル展示

など



写真(左)は降雨体験車の外観、写真(右)は降雨体験時の様子です。

高瀬渓谷フェスティバル2025でも、昨年同様ダム見学や降雨体験など様々なイベントを予定しております。

皆様の参加お待ちしております。



洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしております。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平2112-71

TEL. 0261-22-4511(代) FAX. 0261-22-4512 <http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>

